第３学年Ｄ組　国語科学習指導案

日　時：１０月３０日（金）
　　１３：００～１３：５０
場　所：３年D組教室
授業者：萩原　翔子

（１）単元名　自らの考えを
「複数の意見を読んで、考えよう」

（２）ねらい

３つの文章を、批判的に読んだ内容を基に比較しながらグループの仲間と討論することを通して、筆者の論の展開や主張の妥当性、情報の信頼性、表現の仕方等を評価することができる。

（３）本時における国語科で目指す生徒の姿

・３人の提言を評価する場面で、本文中に書かれている表現や情報の信頼性、具体例などに着目し、筆者の提言やそれを支える根拠が本当に適切だと言えるのかを、根拠を明確にして考えている姿。
・仲間と討論する場面で、３人の提言をなぜそのように評価したのか、根拠は何なのかをより明確にするために仲間に問いかけたり、仲間からの問いに根拠を明確にしながら答えたりする姿。

（４）展開（第３時／全３時）

過程	学習活動	研究に関わって
導入　見通しをもつ	**○本単元においての「批判的に読む」観点の確認と、「討論」の活動モデルの確認をする。** ・自分の中に「問い」を持ちながら文章を読むことで、内容をそのまま受け入れるのではなく批判的に読むことにつながるのだな。 ・「環境問題を解決するために今何が必要なのか」というテーマに対する自分の考えをもつために、３人の提言について評価してみたい。 観点を基に３つの文章を比較して討論し、根拠を明確にしながら評価して３人の提言について考えをまとめよう。	**【研究内容２－①】** ・単元の導入で単元の見通しと評価規準を生徒と共有することで、単元を通して何ができればよいかを生徒が意識できるようにする。
高める	**○３つの文章に対する評価についてグループで討論し、本文の叙述を基に根拠を明確にしながら自分の考えをまとめる。** ・前回まとめた評価の観点を基に、自分の考えを伝えよう。 ・自分が気づかなかった仲間の視点や考えがあれば、ワークシートに付け加えていこう。 討論する上での観点 1　筆者の立場は何か。（肯定的か、否定的か、保守的か、中立的かなど） 2　論理の展開はどうか。（無理や飛躍、曖昧さはないか） 3　情報の信頼性　（誰が見ても同じ結果か。主観的ではないか。） 4　叙述は適切か。（事実と意見は書き分けられているか。） 5　ものの見方、考え方（筆者の考え方に納得できるか。実現性はどうか。） 発言例）Ｂに到達 真鍋さんの文章は、「科学的根拠に基づく」ことや実際の異常気象等を取り上げているところに説得力があるけれど、解決策までは書かれていなくて読み手に訴えるものが弱いと感じる。堅達さんの文章は、「一人が踏み出す一歩」「熱意を声にして働きかければ」といった表現を見ると、熱意や前向きさが感じられて説得力があると思う。しかし、多くの人の小さな行動がどう間接的に世界を動かすのか具体的な事例が弱いと感じる。 ≪見取りについて≫ Ｂ＝それぞれの文章の表現や論理の展開を比較し、根拠を明確にしながら評価しようとしている。	**【研究内容１－②】** ・活動モデルを提示し、討論の方法や討論する上での観点を押さえておくことで、生徒が自ら探究できるようにする。 **【研究内容１－③】** ・前時に、個々でまとめた内容の中でモデルとなる生徒のワークシートを、ＩＣＴを活用しどの生徒もヒントにできるようにすることで、自分の考えをもち切れていない生徒も参考にできるようにする。 **【研究内容１－③】** ・グループ内での討論の観点を示すことで、生徒がどの観点から討論をするのか選択ができるようにする。 **【研究内容２－②】** ・本文の表現に着目して討論をしているグループや、自分の知識や経験と結び付けて発言している生徒を紹介することで、どの生徒もモデルにできるようにする。
自らの学びを振り返る	**○討論を通して評価したことを基に、３つの文章に対しての自分の考えをまとめる。** 私は、伊勢さんの多様な考えをもった人々が共通で納得できるような現実的な仕組み」を考えていくことに説得力を感じた。伊勢さんが述べるように、個人の良心や自己犠牲で環境を守っていくことには限界があるし、やらない人は得をして、頑張る人ばかりに不満がたまり、いずれは環境問題に取り組まなくなる可能性もある。政府が一定の政策を打ち出す中で、それに賛同できれば得になるようにし、賛同できなくても自由に選択した結果に責任をもつようにしていけば、お互いにとって納得のいく結果になるのではないかと私も考えたからである。 **○本単元の自らの学びを振り返る。** 私は、この単元で批判的に読むために３つの提言の根拠は明らかなのか具体例を比較しながら読むことができた。これからも、一つの文章だけで結論を決めてしまわずに、複数の文章を比較しながら考えを広めていきたい。	**【研究内容２－②】** ・本時での課題に対するまとめと、生徒自身の本単元での自らの学び方の振り返りを蓄積することで、批判的に読むこととはどのようなことなのかを生徒自身が後で確認したり参考にしたりできるようにする。 **【評価規準】** **思考・判断・表現Ｃ（１）ウ** 筆者の「立場の明確化」、「論理の展開」、「表現の仕方」、「情報の信頼性」、「叙述の適切さ」について、本文の言葉を用いたり、根拠を明確にしたりしながら評価をしている。 **【評価方法】** ・ワークシート記述 ・発言　・行動観察